



News Letter 春号

世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なきものの友」の輪

ニュースレターVol. 60 (2026年3月発行)

わたしを信じるこの小さい者たちの一人をつまづかせる者は、

大きな石臼を首にかけられて、海の深みに沈められるほうがよいのです。(マタイ 18:6)

「強いもの・大きなもの」が尊ばれるこの世界です。しかしイエスの視点はいつも「弱いもの・小さなもの」に向けられてきました。やがて自分自身も弱く、小さな者になり、誰かの助けを必要とする者になることを忘れてしまいがちな私たちが心に留めなければならない姿勢です。力を与えられている時こそ「声なき・小さなもの」の側に立って考え・行動することの大切さを想わされます。(代表カタリスト 神田英輔)

バングラデシュでも「2月に総選挙」。垣間見える課題とは……

年明け早々、長年の友人家族と再会するためにバングラデシュの首都ダッカに降り立ちました。30年前には想像もできないほど高架道路が林立するかの地では折しも日本と同じく「総選挙」を2月に控えていました。55年前、ベンガル語母語を守るために「虐げられた民」を導いた「独立の父」が創立した政党は長期政権の末、腐敗にまみれていました。教育を受けても失業に喘ぐ今の若者の多くには、独立戦争で戦った人の家族だけ国家公務員に優遇される今の制度は受け入れられません。極貧だった国の経済成長を牽引した前首相(暗殺された独立の父の生き残った娘)は残念なことに、治安当局がデモ隊に発砲することを許可し、24年夏に政権は倒れました。既得権益を守る側になった「独立の父」の支持者たちが目をそらしてきた「声なきもの」の痛みが爆発し、今回の選挙で独立を主導したこの政党は参加を禁止されました。相手を罵る言葉がSNS上を行き交い、社会の亀裂は深まりました。「片手にスマホ」が当たり前の時代、「即座に相手を否定する」のではなく「相手を尊重して誰もが生き生きとする社会を創出する」という目的を共有するにはどうしたらよいか、考え祈る重大さを覚える訪問でした。(柳沢)



選挙に並ぶ人々

声なきものの「政治」

今から10年前、2016年のオックスフォード英語辞典の「今年の言葉」が「post truth ポスト真実」でした。それから10年が経ち、「SNS政治」は日本にも本格的に定着した感があります。そのような中、イエスの福音を生きることを願う私たちはどのように政治と向き合い、振る舞うべきなのでしょう。

「政治」とは「投票行動」や「政治的動員」をのみ指すではありません。投票も選挙もなかった古代ユダヤ社会にも「政治」はありました。リチャード・ボウカムは著書『聖書と政治』のなかで、イエスの政治性は「弱者との連帯」として表れており、その希望は十字架と復活に基礎をおくと述べています。「しかしキリスト者の希望は、キリストの復活に基礎を置いており、その希望はキリストの十字架によって妨げられは

したが、犠牲者たちのための希望として再興された。十字架につけられたイエスは、彼らと一体化したからである。犠牲者を生み出す進歩、犠牲者を置き去りにする進歩は、イエスが明らかにした神の国とは何の関係もない。犠牲者との連帯においてのみ、イエスの未来は私たちの未来になる。(290～291 頁)」

イエスは霊的なことのみを教える「宗教家」ではありませんでした。一貫して社会から抑圧され差別された「声なきもの」と連帯することで「政治的」にも振る舞ったのです。現状維持を願うローマ帝国とその傀儡のヘロデ王、そして当時のユダヤ教の「神殿集金体制」を脅威に晒したため、「権力の虎の尾」を踏んだイエスは十字架で磔刑にされたのです(ヨハネ 11:50)。2023年の日本伝道会議(JCE7)の宣言文『「おわり」から「はじめる」私たちの祈り』の「2」の第4項目にこうあります。「性的少数者、外国人、路上生活者、重い病や心や体の障害を持った方など、偏見や差別、無理解に苦しんでいる方々が教会にもいます。そのうめきや葛藤に耳を傾け、互いの弱さを担い合うことで、私たちがキリストの力がとおう教会としてください」

FVIは隣人愛を実践する「愛の種まき」を教会が実践できるよう励ましてきましたし、今もそれは大切だと確信しています。しかし長年大阪のホームレス街で貧しい人々に奉仕してきた本田哲朗神父は著書に書いています。「救援活動は必ず行き詰まる運命にある」。

そしてその先に「構造悪への認識」が生まれ、その構造悪に怒り、構造自体を変えるように被抑圧者と連帯する社会的・政治的行動へと発展すると述べています(『釜ヶ崎と福音』192～229頁)。FVIが考える「声なきものの政治」は次の聖書の言葉の実践とも言えましょう。箴言 31章 8-9節「口のきけない人のために、口を開きなさい。すべての不幸な人の訴えのために。口を開いて、正しくさばき、苦しむ人や貧しい人のためにさばきを行いなさい。」(カタリスト 陣内)



F・アイヘンバーク『炊き出しの列にならぶイエス』

その他の活動 (2025年12月～2026年2月)

幡ヶ谷バプテスト教会、東京武蔵野福音自由教会(東京都)、万座温泉ホテル日進館カルチャー講演会(群馬県)、聖望キリスト教会・初石聖書教会(以上千葉県)、南浦和バプテスト教会(埼玉県)、International Japanese Christian Church(米国ハワイ州)でFVIカタリストがセミナーで、FVIカタリストがセミナー、講演、報告等の奉仕させていただきました。共に労してくださいました皆様へ心より感謝いたします。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「FVI」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行の口座もご利用いただけます。ご希望される方はお問い合わせください。(旧・三菱東京UFJ銀行の名称が変更されました。ご注意ください。)

* このニュースレターは、<http://www.karashi.net/>に掲載されています。希望された方には email による配信または印刷物として郵送させていただきます。送付先変更、部数の追加、差し止めなどは以下の連絡先までお知らせください。

* 種資金による国際協力、カタリスト支援など、献金をお送りくださる場合は、同封の郵便振替用紙の通信欄に、献金先の国・地域名またはカタリスト名をご明記ください。

●「声なきものの友」の輪 事務局 email: info@karashi.net 090-3036-2776 (神田)